

12月チャレンジ

「だんどり八分」^{はちぶ}

小学校に入学したばかりの頃は、始業のチャイムが鳴っても、ローカや教室でウロウロしている子どもがいるものです。そんな中で、かよちゃんは、チャイムが鳴ると、一番に教室に入り、教科書とノートと鉛筆を机の上にそろえて先生を待っていました。もちろん遅刻はしませんし、忘れ物もありません。

どうして、かよちゃんは、こんなにちゃんとできたのでしょうか。

かよちゃんのお父さんは、バスの運転手です。バスは、きめられた時刻通りに運行しなければなりません。また、多くの人の命を預かっている大切な仕事ですから、いつも体調を整えておく必要があります。寝不足で、あくびをしながらハンドルをにぎるなどということは、ゆるされません。当然、家庭でも規則正しい生活を心がけています。

かよちゃんのお父さんは、「だんどり八分」と口ぐせのようによく言っています。仕事のだんどり（準備）

ができたら、その仕事は、八割はできてしまったようなものだということで、だんどりの大切さを教えています。

かよちゃんが学校できちんとできるのも、規則正しい家庭生活の中で、自然と、だんどり（準備）の大切さを学び、身につけていたからなのですね。

イエスキリストの母となるマリアは、天使を通して、「神の子イエスをその身に宿します」とつけられたときに、「お言葉通り、この身に宿りますように」と素直に受け入れることができました。驚きです。どんなことがあっても、あわてないように、いつも神様とつながり、心の準備（だんどり）ができていたのですね。

聖書の言葉

「わたしは主のはしためです。お言葉どおりこの身になりますように」

ルカによる福音書1章37節

石川三育保育園チャレンジ 北 瞳 夫